

令和4年度

【令和3年度事業】

大和高田市の教育に関する
事務の管理及び執行の点検評価報告書

令和4年9月

大和高田市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、令和4年度（令和3年度事業）大和高田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果を報告いたします。

令和4年9月2日

大和高田市教育委員会
教育長 梶木 義敏

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律[抜粋]

(平成20年4月1日施行)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

点検評価の概要

1	教育委員会の活動状況	
	（1）教育委員会会議の開催状況	1
	（2）教育委員会会議以外の活動状況	3
2	教育予算の執行に関する状況	5
3	主要な事業の点検・評価	
	（1）1次評価の概要	5
	（2）2次評価の概要	6
4	有識者の意見	
	◎有識者の意見の聴取及び概要	7
5	総括	8
6	【別表1】大和高田市まちづくりの指針の体系	9
7	【別表2】事業の評価一覧	10
	事業の概要と点検・評価	12

点検評価の概要

大和高田市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を実施しております。

令和3年度についても、教育委員会の活動の状況、教育予算の執行に関する状況、主要な事業の執行に関する状況について、点検・評価を実施し、外部有識者にご意見をいただき報告書にまとめました。

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況

毎月1回開催される定例教育委員会と、必要に応じて開催される臨時教育委員会において、教育長及び4名の教育委員により、教育行政に関する諸施策について審議を行った。定例、臨時委員会における付議案件の件数及び内容については、次のとおりである。

開催日	定例／臨時	案 件
4月15日 (木)	定 例	・ I C T研究会の進捗状況について ・ 令和3年度大和高田スカウト運動育成協会感謝状授与について ・ 令和3年度大和高田市立学校給食調理業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について 他、後援願2件、報告事項4件
4月15日 (木)	臨 時	・ 人事について
5月20日 (木)	定 例	・ 大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり基本計画について ・ I C T研究会の進捗状況について ・ 令和3年度優良P T A文部科学大臣表彰について 他、後援願3件、報告事項2件
6月24日 (木)	定 例	・ 大和高田市指定文化財の新規指定について ・ 令和3年度大和高田市青少年補導会感謝状授与について 他、後援願4件、報告事項4件、本市における教育課題について

7月19日 (月)	定例	・後援願4件、報告事項1件、本市における教育課題について
8月30日 (月)	臨時	・令和4年度以降使用中学校用教科用図書採択について
8月30日 (月)	定例	・中央公民館、土庫・菅原・陵西公民館、葛城コミュニティセンターの運営規則の一部改正(案)について ・令和3年度大和高田市教育委員会の事務の管理及び執行の点検評価報告書について 他、後援願3件、報告事項2件、本市における教育課題について
9月30日 (木)	定例	・令和3年度教育委員会表彰について 他、後援願7件、報告事項1件、本市における教育課題について
10月28日 (木)	定例	・成人式の新名称について ・学校教育法施行細則の一部を改正する規則(案)について 他、後援願4件、報告事項4件、本市における教育課題について
11月15日 (月)	定例	・後援願2件、報告事項3件、本市における教育課題について
11月29日 (月)	臨時	・市職員人事について
12月20日 (月)	定例	・大和高田市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則(案)について ・大和高田市組織改編に伴う教育委員会の規則・要綱等の改廃・制定の告示について ・成人式の新名称について 他、後援願2件、報告事項2件、本市における教育課題について
1月17日 (月)	定例	・令和3年度大和高田市立学校外国人講師配置等業務プロポーザル選定委員会設置要綱(案)について ・成人式の新名称について 他、後援願3件、報告事項3件、本市における教育課題について

2月14日 (月)	定例	・後援願4件、報告事項5件、本市における教育課題について
3月11日 (金)	臨時	・教育職員人事について
3月24日 (木)	定例	・後援願3件、報告事項2件、本市における教育課題について
3月24日 (木)	臨時	・市職員人事について

(2) 教育委員会会議以外の活動状況

前年度に引き続き、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事等の中止や規模の縮小、出席者の制限が設けられた。令和2年度は中止した学校訪問については、感染状況を考慮し、時期をずらして短時間で実施した。関係行事への出席状況は次のとおりである。

○ 学校訪問

実施日	訪問校・園
11月10日(水)	浮孔西小学校
11月11日(木)	高田西中学校
11月12日(金)	高田商業高等学校
11月17日(水)	片塩小学校
11月18日(木)	高田小学校・片塩中学校
11月22日(月)	土庫小学校・高田中学校
11月24日(水)	磐園小学校・菅原小学校
11月25日(木)	浮孔小学校・陵西小学校

○ 主な行事

開催日	行事名
5月16日(日)	高田洋画会表彰式
5月24日(月)	文化財保護審議会
7月5日(月)	青少年問題協議会
7月28日(水)	社会教育委員会議
10月12日(火)	就学指導委員会
10月30日(土)	調べる学習コンクール表彰式
11月3日(水)	選奨式
11月4日(木)	教育委員会表彰式
11月26日(金)	青少年健全育成研修会
12月24日(金)	文化財保護審議会
1月9日(日)	成人祝賀式
2月17日(木)	いじめ対策委員会

2 教育予算の執行に関する状況

令和3年度の教育費予算は、25億7,053万3千円で前年比24.3%の減であった。教育費の予算の減少は、令和3年度に本市の組織改編が行われたことから、教育委員会が管轄していた事業の一部が市長部局に移行したことと、前年度に教育施設における教育用端末の大規模な整備を行い、令和3年度は完了した状態であったことから減少している。決算額は24億1,310万円で、前年比18.1%の減であり、決算額についても、予算と同様の理由により減少している。

教育予算全体での予算額に対する執行率は93.9%で、概ね予定どおりの予算執行であった。

(単位：千円)

	令和2年度		令和3年度		増減額	
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
1 教育総務費	562,002	487,500	464,271	431,280	-97,731	-56,220
2 小学校費	833,920	631,284	383,386	357,085	-450,534	-274,199
3 中学校費	322,802	258,105	197,829	179,108	-124,973	-78,997
4 高等学校費	413,662	386,916	438,462	426,926	24,800	40,010
5 幼稚園費	275,947	262,135	305,675	282,712	29,728	20,577
6 社会教育費	450,700	408,832	273,107	256,645	-177,593	-152,187
7 保健体育費	538,094	512,589	507,803	479,344	-30,291	-33,245
合計	3,397,127	2,947,361	2,570,533	2,413,100	-826,594	-534,261

3 主要な事業の点検・評価

「大和高田市まちづくりの指針」第2章「将来都市像と基本目標」に掲げた教育関連施策に該当する事業（【別表1】参照）より、主要な27事業を対象とし、各担当課における1次評価、部局における2次評価を行い、自己評価の精度の向上に努めるとともに、外部有識者による意見を活用し、報告書にまとめた。なお、評価及びその基準は、次のとおりである。

(1) 1次評価の概要

各担当課において、事務事業評価シートにより、事業の妥当性、有効性、効率性の3項目について、それぞれ4段階の項目別評価（評価が高い、評価がやや高い、普通、評価がやや低い）を行い、それを基に総合的な評価として1次

評価を行った。1次評価の結果、期待以上の成果が上がったと評価された事業が8事業、概ね期待どおりの成果であったと評価された事業が18事業、期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地があると評価された事業が1事業、課題が残り、期待どおりの成果が上がらなかったと評価された事業はなかった。

評価	基 準	事業数
A	期待以上の成果が上がった	8事業
B	概ね期待どおりの成果であった	18事業
C	期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地がある	1事業
D	課題が残り、期待どおりの成果が上がらなかった	0事業
合 計		27事業

(2) 2次評価の概要

各担当課による1次評価の結果を基に、教育委員会内に2次評価組織を設置し、1次評価の検証並びに2次評価を行い、修正すべき点については修正を加えた。2次評価の結果、期待以上の成果が上がったと評価された事業が6事業、概ね期待どおりの成果であったと評価された事業が20事業、期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地があると評価された事業が1事業、課題が残り、期待どおりの成果が上がらなかったと評価された事業はなかった。

評価	基 準	事業数
A	期待以上の成果が上がった	6事業
B	概ね期待どおりの成果であった	20事業
C	期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地がある	1事業
D	課題が残り、期待どおりの成果が上がらなかった	0事業
合 計		27事業

(各事業の評価は、別表2参照)

4 有識者の意見

◎有識者の意見の聴取及び概要

教育に関し学識経験を有する者2名を教育委員会において選任し、2次評価後の各事業について、意見をいただいた。各評価に対する意見は次のとおりである。

① 教育ICT環境整備事業について

◆子どもたちの将来において、ICTは重要な要素になる。整備した機器を最大限に活用できるように、現場で実際に使用する先生方へ他市町村の学校等での活用例を示すことや講習を行う等、学校間での差が出ないように努めていただきたい。

② コロナウイルス感染症対策事業について

◆小中学校の体育館の空調設備は、近隣市町村の学校より早期に設置していただいている。館内を換気するためだけではなく、熱中症対策や学校行事、避難所として使用される際にも大いに役立つと思われ、評価できる。

③ 学校給食業務について

◆老朽化の進んでいる施設の充実を早急をお願いしたい。毎年各学校・園で行われている給食における危機管理研修の徹底を教育総務課と各学校・園の栄養士や給食担当を中心をお願いしたい。

④ 特別支援教育について

◆障害を持つ児童の増加と障害の多様化により、対応する先生方が多忙を極めていると思われる。昨年より、医療的ケア児支援法が施行され、今後は気管切開や人工呼吸器、経管栄養など医療的ケアを必要とする児童が地域の学校に通う可能性もあることから、看護師や介護士の導入が必要となった際はスムーズに対応していただきたい。

◆教育委員会は、特別支援教育において目指すことを明確に各学校・園のコーディネーターに伝え、教育現場で推進計画を策定し、教職員に共通理解を図ってほしい。ステップ教室は今まで1校のみの設置であったが、複数設置する方向に向かっているとのもので、良い傾向である。

⑤ 人権教育の推進について

◆市の人権施策課と連携し、教育委員会として何を大切に考えているかを明確に教育現場に伝え、各学校・園で推進計画を策定してほしい。金銭的な補助のみにとどまることのないよう、取り組んでほしい。

⑥ 適応指導教室（かたらい教室）について

◆児童・生徒が不登校になる理由は様々であるが、一人一人が目標を持ち、

それに向かって何をすべきかを共に考え、整理する助けになる人が必要である。人員も含め、より充実した事業にしていきたい。

⑦ 教育行政全般について

- ◆教育委員会には、本市PTA協議会、各学校・園のPTA活動へご理解、ご協力をいただき、様々な要望にも応えていただいている。今後も、施設の安全面、子どもたちへの健康面の配慮や健全な育成について取り組んでいただき、本市の教育がさらに向上するようお願いしたい。
- ◆新庁舎になり、教育に関係する各課の連携が取りやすくなったと思われるので、「報告・連絡・相談」を徹底し、各課が同じ方向性を持って課題に取り組み、より現場から信頼される教育委員会となってほしい。

5 総括

令和3年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大が継続していたことから、一部事業について、中止を余儀なくされたものや、やり方を工夫した上で執行した事業があったほか、感染症対策に関連する補助金を利用して事業を執行する等、様々な面で影響があった。感染症拡大の中で、従来の事業についての新たな気づきもあり、昨今叫ばれている多様性も含め、歴史ある本市の教育のあり方について改めて検討し、見直す時期が到来していると言える。

有識者よりいただいたご意見を基に、教育の現状を把握しつつ、課題について時間をかけて検討し、厳しい財政状況ではあるが、限られた予算の中でより効率的・効果的な教育行政の推進に役立てたい。

6 【別表1】

大和高田市まちづくりの指針の体系

※教育委員会の事業は、主に①～③に該当する。

基本目標	基本施策	重点施策
① 認め合い、高めあう人が輝くまちづくり	人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成	
	生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備	
	国際交流の推進及び国際化社会への対応	
② 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり	教育環境の充実	若者世代・子育て世代が住みよいまちづくり
	子育て支援体制の充実	
③ 健康でいきいきと暮らせるまちづくり	医療体制の整備・健康づくり事業の推進	医療・保健・福祉の充実
	地域福祉の推進	
④ 活気あふれるにぎわいのまちづくり	地域産業の振興	産業の活性化
	農業の振興	
	観光の振興	
⑤ 安心して暮らせる快適なまちづくり	持続可能なまちづくりの推進	災害に強いまちづくり
	都市基盤の整備	
	生活環境の整備と充実	
	安全で災害に強いまちづくりの推進	
⑥ 自立と協働のまちづくり	財政基盤の確立	
	効率的な行政運営の推進	
	市民参画による協働のまちづくりの推進	

7【別表2】

事業の評価一覧

番号	事業名	基本施策	評価	担当課
1	人権教育の推進	人権を尊重する社会の実現及び 平和を願う市民意識の醸成	B	学校教育課
2	教育委員会表彰事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	教育総務課
3	社会教育関係団体育成事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
4	葛城コミュニティセンター 管理運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
5	図書館運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
6	中央公民館定期講座運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
7	中央公民館管理運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
8	文化財保護事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	A	生涯学習課
9	幼稚園備品整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
10	幼稚園施設整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
11	小・中学校備品整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
12	小・中学校施設整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
13	教育ICT環境整備事業	教育環境の充実	A	教育総務課

番号	事業名	基本施策	評価	担当課
14	コロナウイルス感染症対策事業（8小学校・3中学校体育館空調設備工事）	教育環境の充実	A	教育総務課
15	学校給食業務	教育環境の充実	B	教育総務課
16	特別支援教育	教育環境の充実	B	学校教育課
17	外国人講師派遣事業	教育環境の充実	B	学校教育課
18	資格取得の推進	教育環境の充実	A	学校教育課 （商業高校）
19	部活動の推進	教育環境の充実	A	学校教育課 （商業高校）
20	人権教育の推進	教育環境の充実	B	学校教育課 （商業高校）
21	適応指導教室（かたらい教室）	教育環境の充実	B	教育支援課
22	青少年補導員活動事業	教育環境の充実	B	教育支援課
23	青少年指導員活動事業	教育環境の充実	B	教育支援課
24	教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会	教育環境の充実	B	教育支援課
25	青少年健全育成支援教室（旧家族ふれあい教室）	教育環境の充実	C	教育支援課
26	就学援助および特別支援教育就学奨励事業	子育て支援体制の充実	A	学校教育課
27	若者の居場所づくり事業	地域福祉の推進	B	教育支援課

事業の概要と点検・評価

基本目標

認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり

基本施策

人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成

人権が尊重される明るく豊かな地域社会を実現するため、一人ひとりが人権を尊重する意識を持ち、自分の人権だけでなく、他人の人権も思いやるまちづくりを進めます。また、人々が笑顔であるためには、何よりも平和な社会が必要です。1985年(昭和60年)に採択した「非核・平和都市宣言」の精神に基づき、平和を願う市民意識の醸成に努めます。

事業名	人権教育の推進	担当課	学校教育課
事業の概要	人権教育の充実を図り、人権尊重の理念を育み、生命と個人の尊厳を重んじる精神の育成に努めるもので、大和高田市人権教育研究会が実施する事業を補助し、各種研修会の開催並びに各校での人権教育講演会等を実施している。		
実績等	令和2年度事業費 18,094 千円 令和3年度 " 33,193 千円 令和3年度大和高田市人権教育研究会活動状況 総会(書面報告) 夏期課題別研修会(3回開催・人数を制限。他の参加者はオンライン配信) 研究集会(書面開催)、推進委員会(毎月1回開催) 研究委員会(4回、延べ75名)、事務局会議(毎月2回) 人権作文集の発行 等		
点検・評価	感染症対策のため開催ができなかった事業もあったが、オンラインや動画配信による実施で、各校からの取組も報告されており、事業の目的は概ね達成されている。人権教育研究会の研究大会では、あらゆる視点からの熱心な取組が報告されており、人権教育の深化が図られているが、現在も細やかな対応を必要とする人権課題が惹起しており、今後も事業の継続、充実が必要である。		

基本施策

生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備

市民が心豊かで生きがいを持って、よりよい人生を過ごせるように、生涯にわたって自らの人生デザインがふくらむ生涯学習機会の充実を図ります。

また、地域に伝わる伝統行事や歴史財産を守り、継承するとともに、人々に感動・誇りや生きる喜びをもたらす活動を推進し、郷土愛にあふれる未来へのまちづくり・人づくりに取り組みます。さらに、市民が健康でいきいきと暮らせるよう、生涯スポーツの啓発、環境の整備に取り組みます。

事業名	教育委員会表彰事業	担当課	教育総務課
事業の概要	大和高田市教育委員会表彰規程に基づき、大和高田市の教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、 ・有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの ・学校教育、社会教育又は社会体育の振興について、功績が顕著なもの ・市内の学校の児童、生徒で特に表彰することが適当と認められるもの に対して、奈良県教育週間の事業の一環として、毎年11月にさざんかホールのレストランホールにおいて、賞状を授与し、その功績を顕彰する。		
実績等	令和2年度事業費 85千円 令和3年度 " 83千円	被表彰者数 "	6名 7名
点検・評価	教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、顕著な功績を残した個人・団体や他の者の模範となる者の永年の功績や経験を顕彰することにより、今後のさらなる活動の活性化を促し、本市学校教育、社会教育、社会体育の振興に貢献する事業であり、概ね期待どおりの成果であった。		

事業名	社会教育関係団体育成事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	婦人会、PTA等の社会教育団体の活動を通し、会員相互間の親睦を深め、地域の文化、教育の向上と地域における活動のリーダーとなる人材の育成を図る。 社会教育団体 地域婦人会連絡協議会 各校区婦人会より構成され、会の発展とともに、女性の教養と地位向上を図る。 PTA協議会 市内公立学校・幼稚園・こども園の各PTAにより構成され、PTA相互の連携を密にし、PTA活動の発展と学校教育の振興に努める。 美術協会 日本画、洋画、書芸、写真、陶芸、彫塑の6部門で構成、本市美術活動の推進に努める。		

実績等	令和2年度補助金 265千円 会員総数 437人 令和3年度補助金 473千円 " 422人 令和3年度の主な事業 地域婦人会連絡協議会・・・月1回の会議、総会（書面開催） PTA協議会・・・・・・月1回の会議、総会（書面開催）、 研究大会（Youtubeにて配信） 「子ども夢街道」動画作成 等 美術協会・・・・・・ 各部門別の展覧会及び美術協会展の開催、 市美術展覧会開催
	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、書面による総会の開催等、活動に制限はあったが、地域文化の向上に大きな役割を果たしている。各催し物については、感染症対策を講じた上でを行い、概ね期待どおりの成果であった。今後もより一層の充実を望む。

事業名	葛城コミュニティセンター管理運営事業	担当課	生涯学習課												
事業の概要	地域住民の文化の向上と福祉の増進を図るため、住民相互の連帯感を育成し、ふれあい豊かな場として活用するため、適正な施設の維持管理に努める。														
実績等	令和2年度事業費 24,451千円 令和3年度 " 11,670千円 令和3年度主な実績 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>開館日数</td> <td>234日</td> <td>(234日)</td> </tr> <tr> <td>教室延べ実施回数</td> <td>168回</td> <td>(69回)</td> </tr> <tr> <td>延べ受講者数</td> <td>1,451人</td> <td>(599人)</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>10,625人</td> <td>(6,934人)</td> </tr> </table> ()は令和2年度 令和3年度開催の教室・講座 (実施回数、延べ受講者数) 小倉百人一首かるた 12回 82人 実用書道 24回 403人 ジュニア将棋 10回 29人 おりがみ教室 11回 167人 楽しいクラフト教室 6回 24人 おとなのピアノ教室 30回 137人 デュ・アメリカンフラワー 12回 12人 パソコン教室 23回 176人 ハンドメイド ZAKKA 12回 81人 等			開館日数	234日	(234日)	教室延べ実施回数	168回	(69回)	延べ受講者数	1,451人	(599人)	延べ利用者数	10,625人	(6,934人)
開館日数	234日	(234日)													
教室延べ実施回数	168回	(69回)													
延べ受講者数	1,451人	(599人)													
延べ利用者数	10,625人	(6,934人)													

点検・評価	新型コロナウイルスの影響はあるが、感染症対策を講じた上で貸館や講座を行っており、本市南部の文化、生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている。受講者数が減少している講座もあるが、継続する受講者もいることから、講座内容については利用者の満足を得ている。今後も市民の学習意欲を高め支えられるよう、内容を一層充実させていかなければならない。
-------	---

事業名	図書館運営事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	市民の誰もが利用できる「学びの場」として、「本との出会い、人との出会い」を大切にし、市民が「心の豊かさ、生きがい」を得、学習意欲を高められるよう情報の提供を行い、「暮らしの中にある、役立つ図書館」として有効に機能できるよう管理運営に努める。県内外他市町村公立図書館との相互貸出サービスやリクエストによる本の購入、本の予約制度、生後4ヶ月健診児へのブックスタートライブラリーの配布等の事業を積極的に展開する。また、インターネットによる蔵書の検索サービスを提供、ネット上で蔵書の有無、予約の状況等の照会が可能となっている。		
実績等	令和2年度事業費 50,687千円 令和3年度 〃 52,914千円 令和3年度 個人貸出者数 44,913人 (32,575人) 個人貸出冊数 179,038冊 (136,462冊) ()は令和2年度		
点検・評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったが、令和2年度に比べ、来館者数・貸出冊数は向上した。利用制限を設け、図書除菌機を設置する等、感染症対策をした上で貸出や催し物を実施し、概ね期待どおりの成果が得られている。		

事業名	中央公民館定期講座運営事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	大和高田市の生涯学習の拠点として、市民の趣味や教養を高める講座を開講し、市民一人一人が生きがいのある人生を実現できるよう、1年間を通して講座活動を支援し、その成果を発表する機会として、例年は成果発表会を開催している。		

実績等	<p>令和2年度事業費 2,663千円 令和3年度 〃 5,115千円</p> <p>令和3年度の主な実績 開館日数 288日 受講者数 6,330人 (令和2年度 開館日数 234日 受講者数 3,955人)</p> <p>令和3年度定期講座(年間開催回数、延べ受講者数)</p> <table border="0"> <tr> <td>陶芸教室</td><td>20回</td><td>240人</td> <td>書道教室</td><td>20回</td><td>300人</td> </tr> <tr> <td>写真教室</td><td>20回</td><td>318人</td> <td>華道教室</td><td>19回</td><td>120人</td> </tr> <tr> <td>創作教室</td><td>20回</td><td>94人</td> <td>着付教室</td><td>20回</td><td>180人</td> </tr> <tr> <td>若葉コース教室</td><td>40回</td><td>640人</td> <td>コースひまわり</td><td>40回</td><td>3,177人</td> </tr> <tr> <td>中央高齢者学級</td><td>12回</td><td>399人</td> <td>中央女性学級</td><td>10回</td><td>89人</td> </tr> <tr> <td>高田視聴覚講座</td><td>10回</td><td>230人</td> <td>等</td><td></td><td></td> </tr> </table> <p>令和3年度自主講座(54サークルが活動) 日本画、洋画、書道、陶芸、写真、創作、英会話、舞踊、大正琴、太極拳等の自主サークル</p> <p>※令和3年度の成果発表会は新型コロナウイルス感染症拡大により、開催していない。</p>	陶芸教室	20回	240人	書道教室	20回	300人	写真教室	20回	318人	華道教室	19回	120人	創作教室	20回	94人	着付教室	20回	180人	若葉コース教室	40回	640人	コースひまわり	40回	3,177人	中央高齢者学級	12回	399人	中央女性学級	10回	89人	高田視聴覚講座	10回	230人	等		
陶芸教室	20回	240人	書道教室	20回	300人																																
写真教室	20回	318人	華道教室	19回	120人																																
創作教室	20回	94人	着付教室	20回	180人																																
若葉コース教室	40回	640人	コースひまわり	40回	3,177人																																
中央高齢者学級	12回	399人	中央女性学級	10回	89人																																
高田視聴覚講座	10回	230人	等																																		
点検・評価	<p>感染症対策を講じた上で定期講座を開催した。コロナ禍においても市民のニーズは高く、生涯学習意欲の高さがうかがえる。生涯学習と地域コミュニティの拠点として、積極的な学習機会の提供に努め、概ね期待どおりの成果であった。公民館主催の定期講座を終えたOBによる自主サークル活動も活発であり、市民の学習意欲の高さが感じられる。高齢者の生きがいづくり、生涯教育の推進という観点から、今後も充実した学習機会を提供していかなければならない。</p>																																				

事業名	中央公民館管理運営事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	<p>本市の生涯学習の拠点として、各種定期講座や自主講座、その他の諸行事を円滑に開催することが出来るよう、定期点検や修理修繕等施設の適正な維持管理に努め、生涯学習の推進を図る。</p> <p>(施設の概要)</p> <p>1F/ 事務室・生涯学習課事務室・視聴覚室・美術陶芸室・調理実習室 2F/ 第1・2講座室・第3講座室・第4講座室・和室①・和室②・創作室 3F/ 大ホール・控室</p>		

実績等	<p>令和2年度事業費 12,419千円 開館日数 234日 利用者数 23,667人 令和3年度 〃 15,863千円 〃 288日 〃 35,217人</p> <p>令和3年度施設の主な利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td>教育委員会関係</td> <td>137件</td> <td>2,268人</td> </tr> <tr> <td>教育委員会以外の行政</td> <td>38件</td> <td>720人</td> </tr> <tr> <td>地域運営組織等</td> <td>60件</td> <td>1,127人</td> </tr> <tr> <td>定期講座等</td> <td>313件</td> <td>6,330人</td> </tr> <tr> <td>自主講座</td> <td>1,953件</td> <td>24,772人</td> </tr> </table>	教育委員会関係	137件	2,268人	教育委員会以外の行政	38件	720人	地域運営組織等	60件	1,127人	定期講座等	313件	6,330人	自主講座	1,953件	24,772人
教育委員会関係	137件	2,268人														
教育委員会以外の行政	38件	720人														
地域運営組織等	60件	1,127人														
定期講座等	313件	6,330人														
自主講座	1,953件	24,772人														
点検・評価	<p>令和4年1月より、夜間の利用を再開したことから活動が再開し、従来の公民館の姿を取り戻しつつあるが、引き続き感染防止に留意するとともに、高齢化する利用者の利便性や安全を確保するため、適切な施設整備の必要がある。各定期講座・教室、自主サークルやその他の諸行事の開催に有効に利用されており、本市生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている。</p>															

事業名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課								
事業の概要	<p>埋蔵文化財包蔵地の範囲を周知し、埋蔵文化財包蔵地における開発行為に対して、現場立会いのうえ、試掘調査の要否について判断している。その結果、重要な遺物・遺構の出土が見られた場合は本調査を行い、記録の作成、出土品の整理等の適正な処理を施し、埋蔵文化財の保存に努め、埋蔵文化財の破壊・散逸を未然に防止する。</p>										
実績等	<table border="1"> <tr> <td>令和2年度事業費</td> <td>4,867千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 〃</td> <td>3,912千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度 発掘届出件数</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 〃</td> <td>33件</td> </tr> </table>			令和2年度事業費	4,867千円	令和3年度 〃	3,912千円	令和2年度 発掘届出件数	36件	令和3年度 〃	33件
令和2年度事業費	4,867千円										
令和3年度 〃	3,912千円										
令和2年度 発掘届出件数	36件										
令和3年度 〃	33件										
点検・評価	<p>令和3年度は、住宅造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（岡崎環濠）を実施した。調査で得られた成果や出土品は、保管するだけでなく、市内外への周知及び公開に努め、市民の歴史への理解と文化財保護意識の高揚に向けて情報発信に努めたい。PRキャラクター「ゆぎ丸」の作成により、文化財保護と地域活性化を幅広い世代へアピールしていく。</p>										

基本目標	子どもたちの笑顔あふれるまちづくり
------	-------------------

基本施策	教育環境の充実
------	---------

未来を担う子どもたちが健やかに成長していくことができるよう、確かな学力、豊かな人間性やたくましい心身の育成など、知・徳・体のバランスのとれた教育の実現に取り組めます。

事業名	幼稚園備品整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	園児の健全な成長を促し、教育の質の向上を図るため、備品の整備を進める。備品購入費の予算を確保し、各園の状況を考慮しつつ、優先順位の高いものから対応する。		
実績等	令和2年度事業費 2,041千円 令和3年度 〃 1,020千円 令和3年度主な整備備品 (園用備品) タイムレコーダー、園児用椅子、二酸化炭素濃度チェッカー 他		
点検・評価	限られた予算の中、各園において精査し、有効な備品の整備に努めている。各園の状況に合わせた教育用物品の他、感染症対策の物品を購入し、概ね期待どおりの成果となった。全体的に遊具等の老朽化が見られ、今後は各園の状況に合わせて段階的に改善する必要がある。		

事業名	幼稚園施設整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	園児の安全で健やかな成長を促進するため、園施設・設備の維持管理に努めるとともに、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理・修繕にも迅速に対応する。		

実績等	令和2年度事業費 7,402千円 令和3年度 〃 4,736千円 令和3年度の主な整備 磐園幼稚園 引戸表面材補修工事 菅原幼稚園 リズム室エアコン取替工事 片塩幼稚園 保育室エアコン新設工事 陵西幼稚園 プール修繕工事
点検・評価	計画的に施設整備を行うことができた。施設および設備の保全については、2名の営繕担当職員により可能な限り修理等を行い、コストの軽減に努めている。限られた予算の中で修繕を執行し、概ね期待通りの成果であった。

事業名	小・中学校備品整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	子どもたちが意欲を持ち、積極的に学習に取り組み、学力の向上と健全な育成を促すことができるよう、備品等の整備を進める。校用備品、教材用備品、理科教育設備用備品、特別支援教育用備品の各々について、学校からの要望を聴取、教育総務課で予算化、一括入札を実施、購入を行い、教育環境の整備に努める。		
実績等	令和2年度事業費 32,058千円 令和3年度 〃 17,541千円 令和3年度の主な整備備品 (校用備品) 小学校：マイク、CDプレーヤー、椅子 等 中学校：椅子、机、ジェットヒーター、スポットクーラー 等 (教材用備品) 小学校：ミシン、電子キーボード 等 中学校：ミシン、箏教材セット、トロンボーン 等 (理科教育設備用備品) 小学校：薬品庫、デジタル気体測定器、顕微鏡 等 中学校：顕微鏡、化石標本、光学台 等 (特別支援学級用備品) 小学校：学習用ボード、車椅子、インクジェット複合機 等 中学校：跳び箱、片手リコーダー、手織り機 等 (感染症対策用備品) 小学校：手洗い自動水栓、滅菌器、サーモカメラ 等 中学校：大型モニター、サーモカメラ、掃除機 等	児童・生徒数 3,801人 〃 3,743人	

点検・評価	小中学校からの要望・必要性を精査し、有効な備品の整備に努め、効率的な執行をしている。感染症対策備品については補助金等を活用して購入し、概ね期待どおりの成果であった。今後も計画的に進めるとともに、管理状況等を把握し、適正管理に努める必要がある。
-------	---

事業名	小・中学校施設整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	児童・生徒の安全で健やかな成長を促進するため、学校施設・設備の維持管理に努める。また、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理修繕に迅速に対応する。		
実績等	令和2年度事業費 69,867千円 令和3年度 〃 134,593千円 令和3年度の主な整備 浮孔小学校既存校舎解体工事、4小学校可動式黒板改修工事、 高田中学校教室黒板改修工事、高田西中学校プール改修工事、 浮孔小学校改修工事に伴うガス配管工事、高田中学校電話配線工事 他		
点検・評価	毎年限られた予算の中で、計画的に予算執行している。幼稚園と同様、施設の軽微な不具合については、可能な限り専属の営繕担当職員による修繕を行っているが、老朽化が進む施設も多く、今後も継続して修繕箇所を洗い出し、改善していく必要がある。		

事業名	教育ICT環境整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実やグループ学習、文科省の掲げるGIGAスクール構想を含むICT（情報通信技術）の積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じ、協働型・双方向型の授業革新を推進する。		
実績等	令和2年度事業費 416,333千円 令和3年度 〃 95,198千円 令和3年度の主な整備 GIGAスクール構想に係る環境整備 GIGAスクールサポーター、DHCPサーバー強化、可搬式アクセスポイントの追加、授業目的公衆送信補償金 等		

点検・評価	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、教育環境の急速なオンライン化に対応できるようICT環境の整備を行った。GIGAスクール構想で前年度までに整備した児童・生徒用端末をさらに効果的かつ効率的に活用できるよう、サーバーの強化等を行い、円滑な授業実施への支援をすることができた。
-------	--

事業名	コロナウイルス感染症対策事業 (8小学校・3中学校体育館空調設備工事)	担当課	教育総務課
事業の概要	新型コロナウイルス感染症対策のため、学校体育館に空調設備を設置し、環境整備を図るとともに施設内の換気も促進する。		
実績等	令和3年度事業費 81,736千円 8小学校体育館空調設備工事 3中学校体育館空調設備工事		
点検・評価	感染症対策事業として、短い工期内で迅速に調整を行い、順調に事業を進めた。体育館内の換気を促し、学校生活や避難所開設時の使用において環境改善を図ることができた。感染症対策のみならず、熱中症対策としても大きな効果が期待できる。		

事業名	学校給食業務	担当課	教育総務課
事業の概要	栄養バランスの取れたおいしい給食を提供することにより、栄養健康管理を推進し、食に関する生きた教材として、食事のあり方等について学ぶことを目的に、幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒に給食を提供する。		
実績等	令和2年度事業費 240,024千円 年間給食総食数 723,859食 令和3年度 237,442千円 706,705食 月～金曜日 週5回の給食を提供 幼稚園(6園)・小学校(8校)・中学校(3校)で学校給食を実施 主食(月・水・金曜日は米飯、火・木曜日はパン)と副食、牛乳の完全給食を提供		
点検・評価	食育として栄養バランスや正しい食の知識を持ち、食べる事への興味・関心を持ってもらえるよう献立や食材に工夫をした。また、安心して給食が食べられるよう、感染症予防対策を行った。		

事業名	特別支援教育	担当課	学校教育課
事業の概要	<p>就学指導委員会において、特別に支援を要する園児・児童・生徒の教育相談を実施し、適正な就学を確保する。学校では、特別支援学級において子どもたちの個々のニーズに合った教育を実施している。幼稚園に加配講師、小・中学校に教育活動補助員の人員配置をし、支援の充実を図る。</p>		
実績等	<p>令和2年度事業費 42,054千円 令和3年度 〃 46,192千円 令和3年度実施の主な事業 特別支援教育担当者対象の研修会開催 特別支援校内委員会において、特別支援コーディネーターを中心に校内での職員研修会実施 等</p>		
点検・評価	<p>就学前の教育相談等により、園児・児童・生徒への教育支援や人員配置・施設ともに整備し、適正な就学を確保することが出来ており、概ね期待どおりの成果であった。また、学校の特別支援学級においても、適切な指導や支援を行っている。しかし、近年「障がい」の重複化及び重度化や園児・児童・生徒・保護者の教育的ニーズへの対応、対象園児・児童・生徒の増加に伴い、本市の目指す特別支援教育を明確にし、より効果の上がる指導体制の充実を図る必要がある。</p>		

事業名	外国人講師派遣事業	担当課	学校教育課
事業の概要	<p>外国人講師による生きた外国語（英語）や外国の文化・生活習慣等に触れる機会を設けることで園児・児童・生徒の外国への興味を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。市内各幼稚園・小学校・中学校・高等学校に外国人講師を派遣。</p>		
実績等	<p>令和2年度事業費 20,097千円 令和3年度 〃 20,097千円 令和3年度の実績（小・中学校については、児童・生徒数による） 幼稚園 1園当たり 9日 小学校 1校当たり 28～70日程度 中学校 1校当たり 63～112日程度 高等学校 115日</p>		

点検・評価	<p>プロポーザル方式による業者選定を導入することにより、安定して信頼出来る外国人講師を派遣することが出来ている。事業開始当初に比べ、派遣講師を増員しており、概ね期待どおりの成果を上げているが、内容や質、委託業者の変更による影響については、継続的にチェックをする必要がある。</p>
-------	---

事業名	資格取得の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)																
事業の概要	<p>将来を担う有為な人材の育成に努め、各々の分野における生徒の能力、適正、意欲を伸ばす等、教育の多様化にも柔軟に対応し、実社会に向け確かな勤労観、職業観を持った即戦力となる人材を育成する。また、大学入試等進学にも有利になるよう、日商簿記検定、全商簿記検定、全商コンピュータ検定、全商商業経済検定、全商ビジネス文書実務検定、全商珠算検定、全商電卓検定、全商英語検定の8種類の資格検定について、1級合格者数のアップ等、資格取得の合格率を上げるよう努める。</p>																		
実績等	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">令和2年度</td> <td style="width: 15%;">生徒数</td> <td style="width: 15%;">595名</td> <td style="width: 15%;">各種検定1級延べ合格者</td> <td style="width: 15%;">826名</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>〃</td> <td>597名</td> <td>〃</td> <td>864名</td> </tr> </table> <p>令和3年度各種資格取得の状況</p> <p>日商簿記検定：2級合格者 33名(33)</p> <p>全商簿記検定：1級合格者 189名(187)</p> <p>全商情報処理検定：1級合格者 186名(172)</p> <p>全商商業経済検定：1級合格者 193名(191)</p> <p>全商ビジネス文書実務検定(ワ-プロ検定)：1級合格者 43名(49)</p> <p>全商珠算・電卓検定：1級合格者 217名(207)</p> <p>全商英語検定：1級合格者 36名(20)</p> <p>全商検定1級3科目以上合格者 194名(192) 他</p> <p>令和3年度進路の状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">4年生大学 64%(54)</td> <td style="width: 33%;">短期大学 4%(7)</td> <td style="width: 33%;">専門学校 15%(14)</td> </tr> <tr> <td>就職 17%(25)</td> <td></td> <td>()は令和2年度</td> </tr> </table>			令和2年度	生徒数	595名	各種検定1級延べ合格者	826名	令和3年度	〃	597名	〃	864名	4年生大学 64%(54)	短期大学 4%(7)	専門学校 15%(14)	就職 17%(25)		()は令和2年度
令和2年度	生徒数	595名	各種検定1級延べ合格者	826名															
令和3年度	〃	597名	〃	864名															
4年生大学 64%(54)	短期大学 4%(7)	専門学校 15%(14)																	
就職 17%(25)		()は令和2年度																	
点検・評価	<p>生徒たちの努力と学校の取り組みにより、前年度に引き続き期待以上の成果が上がり、創立以来最高記録を更新した。時代の流れに合わせ、グローバル社会に対応できる人材育成に向け、英語教育の充実と、英語検定の取得率向上にも努める。また、資格取得に向けた地道な努力を認める体制づくりにも力を入れる必要がある。</p>																		

事業名	部活動の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)																																																
事業の概要	<p>生徒には、必ずいずれかの部に所属するように指導をしており、部活動を通じ、身体的、精神的に強い意志を持ち、規則正しく、礼儀正しい人間を育成することを目的とし、運動部、文化部の活動を支援し、指導の強化に努める。</p> <p>運動部・・・野球、ソフトテニス、サッカー、卓球、バスケットボール、弓道、バレーボール、ソフトボール、陸上、バドミントン</p> <p>文化部・・・吹奏楽、簿記、ワープロ、書道、茶道、華道、情報処理、美術、英語、珠算電卓、家庭、アカペラ、ボランティア</p>																																																		
実績等	<p>令和2年度生徒数 595名 令和3年度生徒数 597名</p> <p>令和3年度各競技の主な成績</p> <table border="0" data-bbox="422 884 1380 1512"> <tr> <td>ソフトテニス部・・・近畿高等学校ソフトテニス選手権大会</td> <td>男子団体</td> <td>優勝</td> </tr> <tr> <td>全国高校総合体育大会</td> <td>男子団体</td> <td>準優勝</td> </tr> <tr> <td></td> <td>男子個人</td> <td>準優勝</td> </tr> <tr> <td>近畿高等学校ソフトテニス選抜インドア大会</td> <td>男子団体</td> <td>優勝</td> </tr> <tr> <td></td> <td>男子個人</td> <td>優勝</td> </tr> <tr> <td>日本高等学校選抜ソフトテニス大会</td> <td>男子団体</td> <td>準優勝</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>等</td> </tr> <tr> <td>弓道部・・・近畿高等学校弓道選抜大会</td> <td>男子個人</td> <td>優勝</td> </tr> <tr> <td>珠算電卓部・・・高校簿記・電卓対抗戦 関西中央本大会</td> <td>電卓の部</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>団体</td> <td>準優勝</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>等</td> </tr> <tr> <td>ワープロ部・・・近畿地区高校ワープロ競技大会</td> <td>団体</td> <td>準優勝</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個人</td> <td>優勝</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>等</td> </tr> <tr> <td>書道部・・・全国たなばた書道展</td> <td>特選・金賞・銀賞</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>等</td> </tr> </table>			ソフトテニス部・・・近畿高等学校ソフトテニス選手権大会	男子団体	優勝	全国高校総合体育大会	男子団体	準優勝		男子個人	準優勝	近畿高等学校ソフトテニス選抜インドア大会	男子団体	優勝		男子個人	優勝	日本高等学校選抜ソフトテニス大会	男子団体	準優勝			等	弓道部・・・近畿高等学校弓道選抜大会	男子個人	優勝	珠算電卓部・・・高校簿記・電卓対抗戦 関西中央本大会	電卓の部			団体	準優勝			等	ワープロ部・・・近畿地区高校ワープロ競技大会	団体	準優勝		個人	優勝			等	書道部・・・全国たなばた書道展	特選・金賞・銀賞				等
ソフトテニス部・・・近畿高等学校ソフトテニス選手権大会	男子団体	優勝																																																	
全国高校総合体育大会	男子団体	準優勝																																																	
	男子個人	準優勝																																																	
近畿高等学校ソフトテニス選抜インドア大会	男子団体	優勝																																																	
	男子個人	優勝																																																	
日本高等学校選抜ソフトテニス大会	男子団体	準優勝																																																	
		等																																																	
弓道部・・・近畿高等学校弓道選抜大会	男子個人	優勝																																																	
珠算電卓部・・・高校簿記・電卓対抗戦 関西中央本大会	電卓の部																																																		
	団体	準優勝																																																	
		等																																																	
ワープロ部・・・近畿地区高校ワープロ競技大会	団体	準優勝																																																	
	個人	優勝																																																	
		等																																																	
書道部・・・全国たなばた書道展	特選・金賞・銀賞																																																		
		等																																																	
点検・評価	<p>運動部、文化部ともに毎年全国規模の大会に出場できるレベルであり、多くの部活動でハイレベルの活躍が見られ、概ね期待どおりの成果であった。令和2年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染症対策などの制限があったが、ソフトテニス部ほか各部において活発に活動し、好成績を残している。部活動を通じた身体的、精神的に強い人間形成の成果が進学、就職にも有効に表れ、卒業後の可能性を広げることにつながっており、今後も更なる活躍を期待する。また、自らを向上させようとする地道な努力を評価する体制づくりにも力を入れるとともに、成長するための基礎づくりとしての部活動の役割を再認識したい。</p>																																																		

事業名	人権教育の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)
事業の概要	人間尊厳の精神に徹し、差別を正しく認識し、差別をなくす意欲と実践力を培う力を養成する。人権教育講演会の開催や「なかまだより」を発行することで生徒の人権意識を高める。		
実績等	令和3年度事業の実績 「なかまだより」発行(年3回)、いじめアンケート(年3回)、DVD鑑賞(年1回)、人権作文(年1回) 等 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、講演会は中止。		
点検・評価	学校教育目標に定める自主的、自立的で責任を重んじ、人権を尊重する実践力を育てることが出来た。各種交流会やボランティア活動への自主的な参加を促している。進学先、就職先からも卒業生に高い評価を得ており、概ね期待どおりの成果であった。カウンセリングルームにてスクールカウンセラーによる相談を月2回実施し、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている。		

事業名	適応指導教室(かたらい教室)	担当課	教育支援課
事業の概要	心理的、情緒的な要因により不登校となった児童・生徒に対し、学校への復帰を支援するため、平成6年に開設。当初は不登校児童等への心理的支援を主な事業としていたが、平成15年度より学習支援を目的とする事業が新たに加わった。心理相談員や指導員を配置し、生徒達の実態を把握、集団生活への適応指導、適応指導に関する調査研究を通し、学校復帰及び心理的問題の解決を図るとともに、学校へ臨床心理士、指導員を派遣している。また、いじめ等への教育アドバイザーによる電話相談等の教育支援を行っている。		

実績等	令和2年度事業費 21,617千円 令和3年度 〃 23,495千円 令和3年度適応指導教室開所日数 242日(243日) 〃 在籍者数 150名(127名) ()は令和2年度
点検・評価	不登校児童・生徒への心理的な支援だけでなく、教育的な支援も効果を発揮し、概ね期待どおりの成果であった。令和2年度に大和高田市適応指導教室設置規則を施行し、その中で適応指導教室職員の職務分担を明確化し、対象者の定義や手続きを定めたことにより、事業を円滑に運用することができている。子どもを取り巻く問題に対して、よりきめ細やかに、また早期に対応するためにも指導員の増員及び質の向上、内容の精査が必要である。

事業名	青少年補導員活動事業	担当課	教育支援課
事業の概要	青少年の問題行動を未然に防止するため、巡視活動を行うとともに、各種の事故防止活動の推進を図り、青少年の健全な育成、指導にあたる。		
実績等	令和2年度事業費 154千円 令和3年度 〃 251千円 令和3年度 行事・研修会回数 31回 延べ参加人数 631人 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、人数制限等を行いながら巡視活動を実施。		
点検・評価	新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急事態措置等により、事業の縮小を余儀なくされたが、巡視活動は継続して行った。子ども達がストレスを抱えることも増えたことから、事業の重要性は高まっており、継続して各種活動を実施することは、市内での少年犯罪の減少に貢献している。		

事業名	青少年指導員活動事業	担当課	教育支援課
事業の概要	市内に在住の幼児・児童・生徒を対象とし、野外活動やハイキング、レクリエーション活動等の事業を実施し、文化や自然にふれあうことにより、次代を担う青少年の健全育成を推進する。また、研修会を開催し、指導員の資質の向上を図ることにより、事業の有効的な推進を図る。		
実績等	令和2年度事業費	105千円	延べ参加人数 60人
	令和3年度	226千円	300人
点検・評価	新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の中止や縮小を余儀なくされたが、感染予防策を講じた上で実施可能な催しを行い、青少年指導員の能力維持のための会議や研修は継続して行った。今後の課題は、行事の参加者が将来、指導員として活躍できる仕組みを構築し、事業の継続性を担保することである。		

事業名	教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会	担当課	教育支援課
事業の概要	教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域社会及び学校がより一層連携を深め、教育の充実を図るため、研修会を開催し、今後の青少年育成の資質向上を図る手がかりとする。		
実績等	令和3年度事業の実績 教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会 参加人数 55人 『ネット・ゲーム依存症について～予防・解決への糸口を考える』		
点検・評価	令和3年度は、一般市民に参加を呼びかける形で開催した。コロナ禍の影響もあり、参加者は少なかったが、ゲーム依存症への対応に苦慮する保護者からは、ステップアップ研修の開催が望まれており、今後は広報の仕方や日程も含め、企画・立案する必要がある。青少年を取り巻く環境が大きく変化しており、時代に対応した青少年健全育成のため、その時々々の教育問題に関しての研修会の開催が必要である。		

事業名	青少年健全育成支援教室 (旧家族ふれあい教室)	担当課	教育支援課
事業の概要	教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域社会及び学校がより一層連携を深めるため、体験教室を開催し、今後の青少年育成の資質向上を図る。		
実績等	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、催し物は中止した。		
点検・評価	前年度に引き続き、感染症拡大のため催しは中止しており、将来性の観点から評価を行った。本事業は令和元年度までは「家族ふれあい教室」としており、家族間のふれあいを主眼としていたが、令和2年度以降は青少年健全育成支援教室と改称し、対象者を拡大する予定である。コロナ禍を考慮しつつ、今後の開催方法、内容について検討した上で継続したい。		

基本施策

子育て支援体制の充実

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長し、「子どもの最善の利益」が実現されるよう、多様化する価値観、ニーズに応じた子育て支援サービス（保育サービス、子育て家庭に対するサービスなど）を充実させ、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

事業名	就学援助事業および特別支援教育就学奨励事業	担当課	学校教育課
事業の概要	経済的に困窮する世帯の子ども等すべての子どもに等しく学校教育が受けられるよう支援を行う。また、特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力に応じて就学に必要な経費を負担する。		
実績等	令和2年度事業費 34,745千円 令和3年度事業費 43,690千円	援助児童・生徒数 704人 援助児童・生徒数 678人	
点検・評価	令和3年度は支給方法を学校を通じての支給から保護者指定口座への振込に変更し、保護者の負担軽減と事務量の軽減に繋がった。引き続き、状況に応じた細やかな対応が必要と思われる。		

基本目標	健康でいきいきと暮らせるまちづくり
------	-------------------

基本施策	地域福祉の推進
------	---------

地域福祉推進の主体である地域住民などの参加を得て、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容などについて、庁内関係部局はもとより、多様な関係機関や、専門職も含めて協議の上、すでにある他の計画を踏まえた「大和高田市地域福祉計画」を策定し、地域福祉の推進に向けた取組を進めます。

事業名	若者の居場所づくり事業	担当課	教育支援課
事業の概要	若者の地域社会への帰属意識及び自己肯定感の向上を図るため、若者の居場所を提供することにより、地域社会からの孤立の防止を目的とする。対象は、市内在住の40歳未満で、義務教育を終了した後、中途退学や早期離職等により社会的孤立のおそれがある者としており、社会福祉課の事務の補助執行という形で実施している。		
実績等	令和3年度事業費 535千円(529千円) ヒサかた・ヒサ会実施回数 52回(47回) 参加者数 326人(321人) ()内は令和2年度		
点検・評価	概ね期待通りの成果を上げている。感染症拡大により、事業の縮小は余儀なくされたが、継続性は維持できている。今後は、専門的知識を有する人材の確保及び市長部局や関係機関が一体となったプラットフォーム作りについて検討の余地がある。		